



ホームページは

「洛西の河川を美しくする会」を活かした緑豊かな自然の景観保全と潤いのあるまちづくりの推進について

桂坂学区は、約30年に渡り、「洛西の河川を美しくする会」による小畑川沿いの美化清掃活動に多くの住民が参加してまいりました。しかし、桂坂学区から美化清掃活動場所まで距離があり、他学区に比べ苦勞を要して参加したのにもかかわらず、拾うことのできる一人あたりのゴミの量がとても少なく、参加者からは、「拍子抜けした」、「何をしに、わざわざ出向いたのか良くわからない」といった意見が多々ありました。同会の会則では、目的として「美化の推進並びに緑豊かな自然の景観を守り、潤いのあるまちづくりを進める」となっており、その目的を達成するため「(1)小畑川及びその流域河川へのごみの不法投棄防止を図る。(2)小畑川及びその流域河川の美化啓発活動をおこなう。(3)その他、小畑川及びその流域河川の美化を達成するため必要な事業をおこなう。」なっていることから、今年度、当自治連合会として清掃活動場所を変更することを同会に提案したところ受け入れられ、桂坂学区内の人工河川であり、小畑川の流域河川である「下狩川」沿い(桂坂野鳥遊園の南、大枝中学校のすぐ東)区域にて、9月12日(土)に美化清掃活動を実施いたしました。



同区域は、景観的に、特に紅葉時、桂坂有数の素晴らしいスポットであり、「美化の推進並びに緑豊かな自然の景観を守り、潤いのあるまちづくりを進める」という同会の目的に真に合致し、住民主体のまちづくりの促進が期待できることと思われます。



上記の紅葉の写真は、当該区域のもので、平成22年2月に京都大学ローム記念館(桂キャンパス)で開催された桂坂夢まちプロジェクト「景観まちづくりフェスティバル」<主催/桂坂地区建築協定協議会(桂坂景観まちづくり協議会の全身)、桂坂学区自治連合会、後援/京都市、京都市景観・まちづくりセンター、京都市建築協定連絡協議会>でのフォトコンテストコーナーに掲示され、上位入賞した写真です。平成21年秋に桂坂学区内で行った住民によるフォトハイキングで応募いただきました。

今号をもって「広報紙桂坂」の非自治会員への配布は取りやめます

今まで、自治連本部から各自治会にお願ひし、非自治会員各位にも当紙を配布してまいりましたが、自治会加入促進に効果があるのか疑問であり、今号をもって非自治会員への配布は取りやめさせていただきます。今後、非自治会員への配布要請があった際に、改めて配布を検討いたします。「何で配布されないのか」という声がかかることを期待しております。そこから、非自治会員の自治会加入のきっかけや、なぜ自治会に加入していないか、どうすれば自治会に加入しようと思っただけなのかを改めて考える糸口につながればと思います。尚、経費としては、昨年度の広報紙桂坂の発行費用約50万円のうち、約9万円が非自治会員分となっています。非自治会員にも配布する目的が、自治会加入促進であるならば、同じ金額を違った使い方にした方が有益ではないかと思われます。



桂坂学区において、4月2件、5月1件、8月3件の空き巣被害がありました。

特に8月は10日・18日・26日と8日おきに窓ガラスを割って侵入され金品が盗まれ、同一犯と思われます。再発を防止するため桂坂で登録している6台の青パトと交通安全・防犯推進委員会の役員は、8月末から9月にかけて町内のパトロールを強化しました。

各自治会は、桑原自治連合会長の協力も受けて、侵入犯を許さないポスターの作成・貼り出しをされました。空き巣を監視しているという雰囲気が一気に盛り上がり、桂坂では空き巣を警戒する光景になりました。

こうした状況のもとで、9月3日に西京警察の他の警察署で8月の犯人と同一犯と思われる人間が逮捕されたとの連絡がありました。

侵入犯は光と音が嫌いで、住宅内に侵入するのに5分以上かかると諦めることが多いようです。また、犯人は複数で犯行に及ぶ場合が多く、一人は車で待機して周りの動きを監視しながら同僚に連絡をするなど分業しています。

各家庭の防犯対策はセンサーライトの設置・「防犯カメラ動作中」などのステッカーの張り出しも効果があります。玄関の鍵は短時間の外出でも施錠して下さい。犯人はスーツを着ていたり、作業服で名札もつけている者もいるようです。まだまだ戸締りと警戒心を持ち続けていただきたい情勢です。

桂坂交通安全・防犯推進委員会
会長 小島 正和

京都府警HPに空き巣対策として、一戸建住宅の防犯設計や共同住宅の防犯設計など掲載されており、ご一読をおすすめします。



空巣に注意!
~外出時、玄関錠はツーロック!窓も必ず施錠!~
<https://www.pref.kyoto.jp/fukei/anzen/hanjo/documents/akisu.pdf>

「桂坂ほっとラインの会(ちょいボラ活動)」活動終了のお知らせ

「桂坂ほっとラインの会」は平成20年に桂坂自治連合会創立20周年記念事業として、桂坂にお住いの高齢者の方でちょっとしたお困りごとの手助けができたらの目的で、社会福祉協議会・民生児童委員協議会・老人福祉員・山の手倶楽部・更生保護女性会・地域女性会の協働事業としてスタートし、事業を進めてまいりました。

12年を過ぎたこの間、84件の依頼に対し延べ273名で活動を続けてきましたが、ここにきて登録メンバーの高齢化が進んだこと、次代の成り手の確保が困難なこと、新型コロナウイルスの感染拡大のもと、新しい生活様式での安全第一の確保が難しくなってきたこと等、一方介護保険での利用できるサービスの充実や、民間の家事代行サービスの活用と選択することが容易になってきた現状から、この会の目的も役目を終えたものと考え、活動を終了することにいたしましたのでご報告いたしますとともに、ご了承のほどお願いいたします。

この間、ご支援・ご協力いただきましたことに感謝と御礼申し上げます

以上
桂坂ほっとラインの会運営委員会
委員長 星野 義一

桂坂野鳥遊園よりもみじまつりとしめなわづくり体験の中止について

もみじまつり(11月)としめなわづくり体験(12月)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は中止することといたしました。

季節行事として、楽しみにされている方も多数おられる事は承知しておりますが、ご理解の程よろしく願ひします。

「わたしの幸せ風景Ⅱ」
桂坂の写真を募集します!

募集期間

2020年 2021年
10月15日(木)～5月15日(土)

桂坂景観まちづくり協議会では、好評だった前回に続き「わたしの幸せ風景Ⅱ」として桂坂の風景写真をポストカードにして発行し、このまちの魅力を発信します。

このまちの魅力……公園があり緑道があり公共空間が広く、樹木の多い緑豊かな桂坂。

新型コロナウイルス感染症の予防のため「3密」を避ける呼びかけがされています。

桂坂の住環境は「密」ではなく、感染症にも、また、災害にも地球の温暖化にも強い住宅地ではないかと密かにこのまちを自慢しています。

あなたが誇る桂坂の風景。緑豊かな桂坂の四季を彩る写真の応募をお待ちしております。前回少なかった“冬・春・初夏”の写真もお願いいたします。

【応募規定】

- ・桂坂に在住およびお勤めの方
- ・ひとり3枚まで
- ・応募者本人が過去5年以内に撮影したもの
- ・桂坂地域で撮影又は周辺地域から桂坂を撮影したもの
- ・合成や大幅なデジタル加工をしていないもの
- ・他のフォトコンテストに応募した作品で応募はできません。

【写真の規格】

- ・2L(127×178)以上
- ・写真添付欄に貼れる大きさ

【応募方法】

- ・応募用紙(チラシ裏面)に必要事項を記入し、写真を貼付けて下記まで郵送、又は直接桂坂学区自治連合会ポストに投函してください。
- ・複数応募の場合は応募用紙をコピー又はホームページからダウンロードしてください。

【採用決定】

- ・応募作品の写真展を開きます。応募された中から桂坂のポストカードを作ります。



【採用通知】

- ・入選作品決定後速やかに連絡します。

【応募作品】

- ・応募された作品は返却しません。
- (作品は無償で主催者が著作権を有します)
- ・人物が特定される写真を応募の場合は、関係する方々の了解を得てください。
- ・ポストカード採用者には、賞品として「ポストカード5枚セット」を進呈します。

【お問い合わせ・郵送先】

桂坂景観まちづくり協議会事務局 宛 ポスト
(桂坂消防分団器具庫 右隣)
メールpostcardkz@yahoo.co.jp

桂坂景観まちづくり協議会

令和2年度赤い羽根 共同募金のお知らせ

赤い羽根共同募金の取り組みは、第74回を迎えました。共同募金運動は、公的扶助制度で十分対応しきれない地域福祉の部分を、府・市民の善意で支えて頂くという「思いやり」、「助け合い」をもとにした運動です。

毎年、多くの皆様方のご理解、ご支援を得て10月1日から3月31日まで全国一斉に共同募金運動を展開し、「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンにしております。

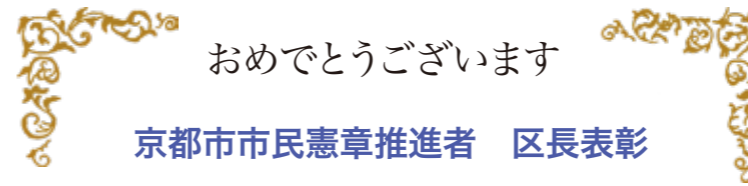
今年は、新型コロナウイルス感染症の蔓延環境下で、生活課題の長期化が、懸念される中、現状を支える人々、子ども達や家族に対する緊急支援が、期待されております。さらに今年度は7月の、九州地方の台風・豪雨府災害に対しても緊急支援が行われました。令和元年度の寄付金は西京区全体で942万円余りの善意の募金を頂き、「緊急支援」に加え、「住民福祉活動」、「高齢者福祉活動」、「児童青少年福祉活動」、「障害のある方の福祉活動」など民間の社会福祉活動や福祉施設や社会福祉協議会等のさまざまな活動を支援しております。

このような状況下だからこそ、「助け合い」、「思いやり」の心を一層大切にし、「互いに助け合う福祉」を目指した共同募金活動を進めていくことが求められています。

桂坂学区におきましては、11月1日～30日までを募金期間とさせていただきます、本年も理解・ご協力を宜しく願い申し上げます。

なお、年度末には、赤い羽根共同募金会より募金実績額の5%が還付されており、事務活動費を差し引き、桂坂学区自主防災会災害基金として寄付しており、現在342万円余に達しております。

共同募金会桂坂分会 分会長 松井 政枝



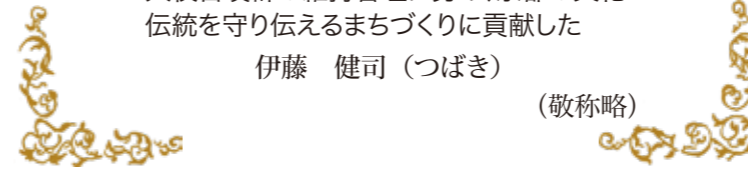
おめでとうございます

京都市市民憲章推進者 区長表彰

永年にわたり、古墳の森保存会の会長として大枝古墳群の維持管理に努め、京都の文化・伝統を守り伝えるまちづくりに貢献した
浅田 将樹 (ぼぶら)

永年にわたり、古墳の森保存会の副会長として大枝古墳群の維持管理に努め、京都の文化・伝統を守り伝えるまちづくりに貢献した
伊藤 健司 (つばき)

(敬称略)



桂坂 古墳の森秋の特別公開



11月29日(日) 午前10時～午後4時
受付終了 午後3時30分(小雨決行)

『来場される方へのお願い』

新型コロナウイルス感染拡大予防と安心・安全確保のためのご協力をお願いします。

- *入場の際は必ずマスクの着用を。
- *非接触型体温計による検温の実施。(37.5度以上の場合は入場をお断りします。)
- *入口・出口での手指消毒のお願い。
- *「京都市新型コロナあんしん追跡サービス」への登録、連絡先等の記入への御協力へをお願い。

◆ 編集後記 ◆
九月の連休に綾部の農家民宿にて稲刈りの体験をさせてもらいました。お米は毎日、食べるものだけど、トマトを庭先で育てるような手軽なものではなく、種籾から苗を育て、田植え、草を引き、出穂したら獣に食べられないよう注意して。鎌を使って刈り取り、藁で結つて、稲木にかけて…半反(150坪)だけでしたが腰が痛くなりました。収穫量は少なめで40～50キロ位だろうとの事でしたが、一年で一人あたり75キロ食べる計算だそうです。後日、お米を届けてもらったのですが、特別なお米になりました。

イベント・会議のお知らせ

☆桂坂社会福祉協議会
いきいき筋トレ教室
開催 10月18日(日) 10:00～12:00 クローバーホール
開催 11月8日(日) 10:00～12:00 クローバーホール
いこいの広場「ひだまり」 クローバーホール
中止 12月まで
すこやかサロン
開催 10月24日(土) 10:00～12:00 クローバーホール
開催 11月21日(土) 10:00～12:00 クローバーホール
スカイクロス
開催 10月28日(水) 10:00～12:00 桂坂ふれあい公園
開催 11月4日(水) 10:00～12:00 桂坂ふれあい公園
開催 11月25日(水) 10:00～12:00 桂坂ふれあい公園
桂坂きッズサロン
開催 11月11日(水) 10:30～12:00 桂坂児童館

※上記事業に参加の場合は、マスクの着用をお願いいたします。(多少のマスクは支度させてもらってます)

※「桂坂茶話会」について
毎年11月23日(祝)に開催しておりましたが、今後は介護予防事業を充実させるため「すこやかサロン」として11月第3週土曜日に行います。

☆桂坂少年補導委員会
中止 11月開催 第2回わんぱく塾
中止 12月13日(日) 親と子のふれあいまちつき大会
中止 3月開催 第3回わんぱく塾

☆桂坂更生保護女性会・桂坂保護司会・桂坂少年補導委員会・大枝中学校PTA・桂坂小学校PTA
中止 11月開催 薬物講演会

☆桂坂更生保護女性会・桂坂保護司会・桂坂小PTA
中止 ふれあいコンサート「音と語りのプロムナード」